

事業所名

こぐまの森 児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		”ありのままのきみで”個性を尊重しながらありのままの子どもを受け止め、愛情いっぱいにとったりと寄り添い、子どもたちにとってあたたかい居場所づくりを目指します。					
支援方針		「理解」「需要」をもとに大きな器で、お一人、お一人を支援していきます。可能性を信じて、お子さまの潜在能力を引き出していきます。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身に付ける方法。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮（感覚等）支援（咀嚼、嚥下、姿勢保持等）します。遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、環境配慮を工夫します。					
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の感覚は、力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。ミュージックケア・音楽あそびの活動にも含まれます。					
	認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に学習できるかを模索し、支援します。また、「着席」「大人をよく見る」「少し嫌なことへも頑張ってみる」等課題に向く姿勢、力がつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と感じられるように関わり方や内容を工夫します。					
	言語 コミュニケーション	「要求」「報告」「聴く」「模倣」「観察する」など、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやマカトンサイン、カード等それぞれに合った方法を考え支援します。					
	人間関係 社会性	SST（ソーシャルスキルトレーニング）と言われる支援です。「順番交代」「役割」「ルールを守る」「指示に沿った行動をする」など、社会に適応するために必要なスキルを身に付けられるよう支援します。また、「感情に気付く」「対処法を考える」など、気持ちのコントロールを練習します。					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の実施 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用先や幼稚園、子ども園、保育園との情報共有や支援のすり合わせ
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助 ・相談支援事業所との連携 ・医療機関との情報連携や調整 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止研修、救命救急講習 毎年実施 その他キャリアアップ研修、勉強会等多数参加
主な行事等		クリスマス会、ハロウィンパーティ、運動会など季節の行事の実施 年6回以上遠足実施 避難訓練毎月実施					